

土地の所有者・管理者の方へ

# アメリカオニアザミ を

見つけたら、ご近所に拡大してしまう前に、駆除・処分してください。

- アメリカオニアザミは、ヨーロッパ原産のキク科植物で、7～9月頃に紫色の花を咲かせます。種はタンポポのように綿毛がついており、風に乗って広がります。
- 繁殖力が強く、在来植物の生育場所を占領してしまう恐れがあり、環境省の生態系被害防止外来種に指定されています。
- ご自宅の庭などの敷地内で見つけたら、生息域を広げないよう、駆除のご協力をお願いします。

## 【駆除の方法】

### 1. 花が咲く前に

花が咲き、種をつける前の駆除が効果的です。

### 2. トゲに注意

長袖・長ズボンを着用し、皮手袋や厚手の丈夫なゴム手袋を着用してください。軍手では貫通する場合があります。花が咲き終わり、枯れたものでもトゲは残っています。

### 3. 根ごと

根や株が残っていると再生します。根ごと駆除することが理想です。

### 4. 道具の活用

トゲが固く鋭いので手で引き抜かず、厚手の手袋とスコップなどを使用して根ごと掘り返してください。

### 5. 種子の飛散、トゲに注意して処分

駆除したものをそのまま放置すると、種が飛散する恐れがあるため、放置せずに「枝草類」の日に無色透明の袋に入れて排出してください。排出の際には収集作業員がケガをしないよう、袋に「トゲ注意」の貼り紙をするなどのご配慮願います。

※ニセアカシア・バラ等トゲのある物を出すときにもご配慮願います。





《4月～5月頃の状況》

#### 4月～5月頃

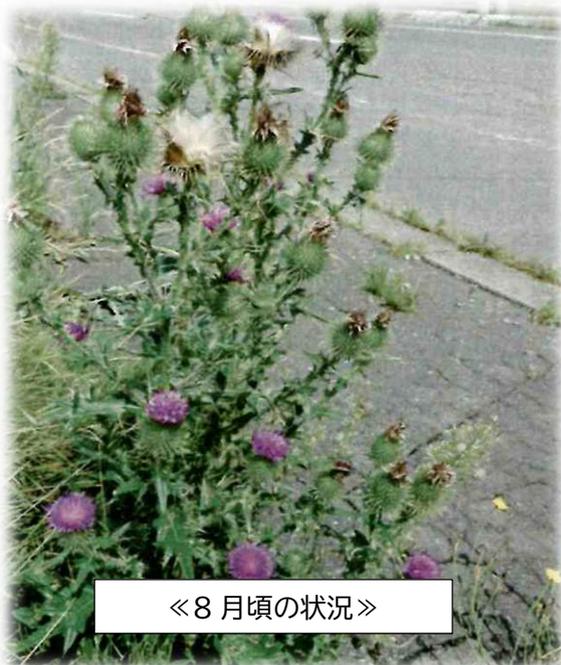
根生葉は、ロゼット状でタンポポの葉に似ており区別しにくいですが、葉のには硬い短毛とギザギザの鋭いトゲがあります。



《6月頃の状況》

#### 6月頃

茎の高さは 0.5～1.0mくらいに成長します。茎はよく分岐し、葉や茎の大きさと比較すると小さめの頭花を株の上部に密集させて咲かせます。



《8月頃の状況》

#### 7月～8月頃

紅紫色の花が咲き発見しやすくなります。タンポポのような綿毛がついた種が空中に舞い上がり風に飛ばされ、広範囲に拡散され、爆発的に増えていきます。

